
藤丸修羅変 小話集

子の月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

藤丸修羅変 小話集

【Nコード】

N3165J

【作者名】

子の月

【あらすじ】

本編に入るように入らない小ネタばかりです。

大物と何とかは紙一重（前書き）

まだ主人公が異世界に行っていない頃の話です。

大物と何とかは紙一重

「ぼよん、藤丸」

「藤丸」

「藤丸様」

街道を一人行く青年。その青年を先ほどから呼び続けている三人の男女。

「いい加減に返事して欲しいよん」

「腹が減っているのか？」

「そうなのですか、丁度あそこに茶屋があります。入りましょう藤丸様」

青年の返事も聞かず、茶屋へ引きずっていく三人。

返事をしたら負けなのは道中、嫌というほど思い知らされたので、無言を貫こうと必死に歯を食いしばっている青年。

しかし、もう長くは持ちそうに、ない。

「お団子を50本欲しいんだよん」

「お茶を頼む」

「私はお勧め甘味にいたします。藤丸様はなんになさいますか？」

「……てめえらしい加減にしやがれ」

青年が低く恫喝するようになる。周囲の温度は2、3度下がったような気がする。店にいた他の客や店員は何事かと青年を注視する。

しかし、連れの三人は馴れているのか、気がついてないのか、そもそもそんなこと気にも留めないのか、まったく動じていない。

「やっと返事をしてくれたよ〜ん」

「藤丸様、どの甘味がお好みですか？」

「腹がすいているのなら、甘味よりも飯」

青年の額にくつきりと青筋が浮かぶ、周囲の温度はさらに下がっているようである。

「前に言ったよな？（隠れ）里を出たらもう他人だ。何の関わりもないただの人なんだから、たとえ会っても話かけるなって」

話しているうちに怒りが湧いてきたのか、青年の言葉は止まらない。

「俺だつて、みんなに会えりゃあ、それなりに懐かしかったり嬉しかったりするけどよ。もう関わらない方がいいと思ってるんだぞ？！それなのに、お前らときたら無神経に普通に話しかけてきやがって。」

この前なんて大天狗に『猿酒もってこい』って言われて、持ってないって言ったら、見つかるまで猿山巡りさせられたんだぞ!!」

青年の怒りやら悔しさやら八つ当たりやらの台詞を聞いて固まる三人。

「・・・藤丸様、あの『もう話しかけるな、無視しろ』って本気だったんですか」

「当たり前だ!!」

何故か自信満々に答える青年。

「・・・」

「ぼよん。藤丸がその気なら止めないよん。でもね・・・」

「堀五郎様」

堀五郎と呼ばれた男は言いかけた言葉を飲み込む。

「ななっなんでもないよーん」

「まあ、そんなわけだから、俺にはもう関わるな。わかったな!」

そっぴい残して、茶屋から飛び出していく青年。

それを見つめる三人。

「藤丸に教えんで良かったのか?」

「ぼよん」

男二人に見つめられた少女はにっこりと笑って

「そのほづが良いと占いにしておりますから」

と言い放った。

その黒い笑顔を見て男達は（絶対嘘だ！）とは思ったが、怖くて指摘することも、青年に教えてあげることもしなかつた。

茶屋から走り去った青年のマントには煉動藤丸としっかり大きく彼の名前が書いてあることを。

そう、たとえ彼が仲間を見つけ急いで背を向けたとしても、その背には彼の名が……。

いや、彼が仲間に背を向ければ向けるほど、彼が見つけやすいという事実を……彼だけが知らない。

大物と何とかは紙一重（後書き）

実話(?)です。ゲームの主人公はマントを何故かつけているんですが、そのマントには何故かでかでかと名前が書いてあります。しかもやってるのは主人公だけ。・・・天然？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3165j/>

藤丸修羅変 小話集

2010年10月8日22時13分発行